



かながわ信用金庫のSDGsへの取組み



当金庫では、SDGs（持続可能な開発目標）が目指すゴールと地域の持続的発展を目指す信用金庫の理念および当金庫が掲げる、自らがお客さまを産み、育てる創造的伴走型の「強くてやさしい信用金庫」と目指すゴールが同一であると考え、令和2年7月1日に「かなしんSDGs宣言」を行い、社会・経済・環境の3つを重要テーマとした「かなしんSDGs基本方針」のもと、SDGsを事業活動に取り入れています。

かなしんSDGs基本方針

【社 会】

さまざまな地域貢献活動や多様なステークホルダーとの連携を通じて、地域の持続的な発展を目指します。

【経 済】

金融を通じて地域の課題解決に貢献し、地域と伴走して経済の持続的な発展を目指します。

【環 境】

いつまでも安心して暮らせる地域環境を守り続けていくため、積極的に環境保全に取り組むとともに、当金庫事業の環境負荷低減を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



かなしんSDGs MAP

【地域社会】

さまざまな地域貢献活動や多様なステークホルダーとの連携を通じて、地域の持続的な発展を目指します。

【パートナーシップ】



- 三浦半島地域活性化協議会の運営
 - ・三浦半島地域の魅力向上
 - ・三浦半島地域の「学・職・業・住」をつなげる
 - ・三浦半島地域の観光資源の連携と相互誘客
- かながわSDGsパートナー登録
- 「つづく みんなの猿島プロジェクト」参画
- 日本財団「わがまち基金」を活用した地域振興
- 内閣府官民連携プラットフォームへの参加

- 金融経済教育の実施
- 市民コーラスと歌手の集いの開催
- 遊行寺新能の後援
- 地域見守り活動
- 「かながわ子ども家庭110番」普及活動
- 災害時施設使用協定(横須賀・田浦警察署)
- 地域行事・イベントへの参画
- 「ふれあい号」の無償貸与



強くてやさしい信用金庫 よろず相談承り信用金庫

【環境】

いつまでも安心して暮らせる地域環境を守り続けていくため、積極的に環境保全に取り組むとともに、当金庫事業の環境負荷低減を目指します。

- ボランティアサークル「ふれあい」による海岸清掃
- 「えのすいecoサポーター」参画
- かながわグリーンボンドへの投資
- 金庫の環境負荷軽減取組
 - ・ペーパーレス推進（「かなしん通帳アプリ」等）
 - ・屋上ソーラーパネル設置による自家発電
 - ・クールビズ、ウォームビズの実施



【地域経済】

金融を通じて地域の課題解決に貢献し、地域と伴走して経済の持続的な発展を目指します。

- 地域企業の経営支援
 - ・創業支援、経営力強化、事業承継
 - ・販路拡大支援
- 「ビジネスマッチング with かながわ8信金」
- 「かなしんビジネス交流会」
- 東京地方税理士会との業務提携による商談会
- かながわ版金融SDGsフレームワーク事業参画
- 「自治体」地域経済活性化支援に関する協定



地域社会のために ～持続可能な社会づくり～



■「三浦半島地域活性化協議会」運営

平成 28 年 4 月 15 日、当金庫は、株式会社神奈川新聞社、関東学院大学、京浜急行電鉄株式会社、三浦商工会議所、横須賀商工会議所、横浜市立大学と、三浦半島地域活性化に関する協定書を締結しました。本協定に基づき 7 者は「三浦半島地域活性化協議会」を発足し、人口流出・人口減少や少子高齢化の進展、地場産業の衰退などの課題を抱えている三浦半島地域で、各団体が持つ技術や知識・知恵を融合させ提供していくことにより、三浦半島地域の活性化に向けた活動を推進しています。



■「つづく みんなの猿島プロジェクト」参画

本プロジェクトは、無人島・猿島の環境保全や観光誘致を目的としつつ、SDGs の考え方を基に「環境×観光×学び」の循環を目指すものです。

具体的に、猿島でゴミの分別施設である「エコステーション」の設置に取り組んでおり、当金庫でクラウドファンディングによる資金調達をお手伝いしました。

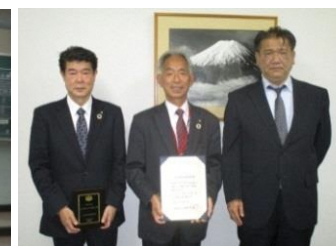
今後も当金庫は、地域金融機関およびコアメンバーとしての役割を發揮するとともに、本プロジェクトを通じた地域活性化に努めてまいります。



■金融経済教育の実施

平成 19 年より小学校および特別支援学校へ金融経済教育を実施しています。特別支援学校に対する金融経済教育の取り組みが内閣府に評価され、「令和 2 年度チャイルド・ユースサポート章※」を受章しました。

※ 子供・若者を支援する活動において顕著な活動に功績があった団体に贈られる章



■「ふれあい号」の無償貸与

平成8年より、お体の不自由な方のために、無料でご利用いただける車椅子対応の介護車（ふれあい号）をご用意しています。令和2年に3代目に更新するとともに、横須賀市社会福祉協議会に無償貸与しています。

■遊行寺薪能の後援

藤沢市の遊行寺で開催されている「遊行寺薪能」を後援しています。「遊行寺薪能」は、文化の面でも地域に貢献したいという当金庫の思いから、地域の方々のご理解とご協力を得て、昭和59年9月に第1回が開催されました。「遊行寺薪能」は、多くの人に支えられながら藤沢の初秋の風物詩として定着しています。

■市民コーラスと歌手のつどい

横須賀市内の市民コーラスグループの発表、プロ歌手のコンサートを楽しむ場として、昭和62年より「市民コーラスと歌手のつどい」を開催しており、地域のイベントとして親しまれています。

■スポーツ大会の開催

- ・ かながわ信用金庫理事長杯争奪ゲートボール大会
- ・ かながわ信用金庫杯争奪学童軟式野球大会
- ・ 横須賀キッズサッカー大会



■災害時施設使用協定

地震等による大規模災害が発生し警察施設が使用不能となった際の代替施設および災害時の治安維持活動の拠点として当金庫の店舗を使用する「災害時施設使用協定」を、下記の警察署と締結しています。

- 田浦警察署×追浜支店
- 横須賀警察署×武山支店
- 港南警察署×港南支店



■地域見守り活動

■こども110番の家

■AEDの設置





■「かながわ版 SDGs 金融フレームワーク」参画

当金庫では、神奈川県 SDGs 推進施策である「かながわ SDGs パートナー」の登録機関として、かながわ版 SDGs 金融フレームワーク※の実証事業に参画し、SDGs への理解を深めるとともに、神奈川県と連携して当金庫のお客さまを対象とした支援事業を実施しました。今後は、本事業で得たノウハウを基に、SDGs 経営の普及に取り組んでまいります。

※ SDGs 達成に資する事業を実施する県内企業を金融機関が支援する体制の構築を目指す取り組み



■「横須賀いいじゃん！」～かながわ観光活性化モデルの形成事業～

令和元年より、当金庫では、三浦半島地域に点在する観光資源を連動させる観光周遊モデルを形成し、地域が一体となって観光活性化に取り組む基盤を整備するとともに、当該モデルを広域へと波及させていく事業に取り組んでいます。

本事業は、日本財団「わがまち基金」の助成を受けて活動しています。



■経済講演会

当金庫のお客さまを対象として、様々な分野の専門家を講師にお招きして講演会を開催しております。



■かなしんビジネス交流会

■東京地方税理士会との提携による商談会

■受・発注商談会

■ビジネスマッチング with かながわ 8 信金

■職域サポート制度

地域環境のために ～環境保全の永続的な取組み～



■ボランティアサークル「ふれあい」による海岸清掃

ボランティアサークル「ふれあい」*のメンバーが中心となり、観光協会、米海軍や海上自衛隊のボランティアサークル他多くの皆さまにご協力いただき、地元神奈川県の新浦安海岸、城ヶ島、片瀬海岸などの清掃活動を実施しています。今後も地域の方々と力を合わせ、積極的に環境保全のための活動に取り組んでまいります。

※ 平成9年に、ボランティアをやりたい人と求める人の橋渡しを目的に当金庫が立ち上げた団体
【実績】 緑綬褒状受章（平成28年11月3日）



■グリーンボンドへの投資

神奈川県が発行するグリーンボンド（環境分野への取組みのために発行される債券）へ投資しています。本投資は、水災害への対策として神奈川県が推進する「神奈川県水防災戦略」に充当されます。

■えのすい eco サポーター

新江ノ島水族館が行う生物に関する生態学の普及および環境を考える活動や取り組みをサポートする「えのすい eco サポーター」に参加しています。また、新江ノ島水族館の協賛企業として、展示ゾーンなどで当金庫をご紹介いただいています。

■環境負荷軽減への取組み

- ・ペーパーレス推進
- ・屋上ソーラーパネル設置による自家発電
- ・クールビズ、ウォームビズ実施